第　６６号
令和2年8月29日
編集責任者　田邊　朋之

清里農連通信

発行　清里町農民連盟
清里町羽衣町2番地
TEL　0152-25-3792
FAX　0152-25-3793

耕地防風保安林整備計画説明会

7月17日農協会議室において、盟友より要望のあった耕地防風保安林の整備計画について、網走南部森林管理署より説明を受けました。内容としては、今後の作業スケジュールや作業工程などの説明を受けたところです。今後の作業予定は、令和２年度に整備方針の作成、地元関係者との意見交換、一部の防風保安林を整備して試行的にモニタリング。令和３年度現地検討会や説明会等の実施。令和４年度以降に合意形成が得られた翌年度から防風林整備に着手するという計画の説明でした。

この整備事業は、今後１０年は継続する事業なので、防風林に隣接する方にはご協力をお願いします。この整備事業について、わからない事や質問などがあれば地元執行委員か連盟事務所までご連絡下さい。

桑島　義幸

※今年度から、町内全域の防風林整備計画が立てられるのに際して、生産者の立場で、盟友の要望を伝えるためアンケートにご協力ください。アンケートは各集団の執行委員が対応します。



耕地防風保安林整備計画説明会



麦作センター事業　意見交換会

でん粉工場操業に関する意見交換会

8月27日に、でん粉工場との意見交換会があり、馬鈴薯の加工取扱要領等の説明を受けました。まず初めに１５条におよぶ工場の加工取扱等の説明、次に令和２年度のでん粉仮精算の単価及び今年の作況の報告を受けました。８月に入ってからの大干ばつにより馬鈴薯へのダメージが大きいのと、コロナ禍の影響で仮精算の額も昨年と比べると減り、大変厳しいとのことでした。
また、昨年発生が確認されたシロシストセンチュウについて、今年も確認されていて、引き続きの対策もあり、ますます厳しい現状です。
9月1日から、馬鈴薯の収穫が始まりますが、予想以上の反収とでん粉価を期待したいものです。

羽田野　正人

麦作センター事業に関する意見交換会

8月27日、麦作事業に関する意見交換会が行われました。
今年の小麦の収穫量は、農協平均では乾麦で11.48俵、製品推定で9.81俵、整粒率で85.5％の見込みだそうです。
秋まきの調整は順調で、9月1日には、１回目の検査を受けることができるようです。今年も全量一等を目指しているとのことです。
その他、来年度からの麦作集団編成の話や、パワーアップ事業でコンバイン９台更新の話、また、全車自動操舵を取り付ける予定だそうです。
いずれにしても、人手不足がこれからの問題なのではと私は思います。来年度もこのような懇談会を開いて、よりよい麦作事業にしてほしいと思います。

久保　宗央

編集後記

8月は暑い月となりました。9月も残暑がありそうな天気予報がでています。農作業中の熱中症対策を十分にとられていると思いまが、気を付けたいのが清涼飲料水の飲みすぎによる急性糖尿病です。1日にペットボトル2本分水分補給するなら1本をレモンを絞ったレモン水やお茶にすると良いようです。9月からの熱い収穫期を体を整えて乗り切りましょう。

田邊